

第18回 大阪大学歯技会 学術講演会

母校での私の足跡！



講師：町博之先生（大阪大学歯学部附属歯科技工士学校 特任講師（常勤））

2023年3月5日（日）13:00～15:30

オンライン開催（Zoom）※参加登録必要

事前参加登録フォームは
こちらからアクセス→



＜講師紹介＞

◇ご略歴

1984年 大阪大学歯学部附属病院歯科技工士学校 卒業
1985年 大阪大学歯学部附属病院技工研修科 修了
1985年 大阪大学歯学部附属病院総合技工室 文部技官
1993年 大阪大学歯学部附属歯科技工士学校 文部技官
2004年 大阪大学歯学部附属歯科技工士学校 専任講師
(国立大学法人の規程による)
2012年 大阪大学歯学部附属歯科技工士学校 教務主任
2022年 大阪大学歯学部附属歯科技工士学校 特任講師（常勤）

◇教育活動

全国歯科技工士教育協議会 実技評議員
大阪歯科大学医療保健学部口腔工学科 非常勤講師

◇社会活動

一般社団法人日本歯科技工学会 理事
一般社団法人日本歯科技工学会近畿支部 支部長
JASD 認定 MG テクニカルインストラクター

同窓会の皆様には、母校の思い出を
振り返っていただけるのではないか
でしょうか？
皆様のご参加をお待ちしております。



＜講演抄録＞

昭和59年に大阪大学歯学部附属病院総合技工室（以下、技工室）に技官として就任しました。その8年後、大阪大学歯学部附属歯科技工士学校（以下、学校）へ異動してから令和4年3月末まで学生教育に携わり、500人弱の卒業生を見届けました。

異動については、原則的に臨床から離れるため抵抗感がありました。しかし熟慮の末、技工室で培った技術を伝承することにも意義があると思い、また母校へ戻ることは自身にとって自然な流れであるかもしれないとも考え、教育職に進むことを決意しました。果たして正しかったのでしょうか？今思えば、教え子たちを歯科技工士として母校の名に恥じないように送り出し、その手助けを可能な限り行ってきた自負があるので、この時の決断は正しかったと信じています。

また、教務主任を拝命してから歯科技工士教育に二つの大きな変革がありました。ご存知の通り、国家試験の統一化とカリキュラムの大綱化です。当時、全国歯科技工士教育協議会は、全国の教員対象に多くの説明会や講習会を開催しました。これまで慣例として行っていた問題作成ならびにカリキュラム作成について論理的に学ぶ機会があり、大変ではありましたが非常に有意義であったと感じています。またこれらを通じて痛感したことは、国立大学附属の養成機関教員の宿命として、イニシアチブに欠けるようでは駄目であるということでした。

一方、研究に関しては前田芳信先生のお誘いで、スポーツマウスガード（以下、MG）の製作方法についての研究に参画する機会を得ました。そして、医局員の先生方と様々な実験に取組み実験方法やデータの解析、その得られた結果のまとめ等、学術に関する様々なことを学んだことは非常に幸運でした。

また、日本スポーツ歯科医学会が、学会としてMG製作に関わる標準的な指標を構築するためのメンバーに参画したこと、さらに学会の標準的指標にそってまとめた出版物を発刊する際に、著者として加わることができました。学生教育以外で続けてきたことが実を結んだと思います。

現在は特任講師（常勤）として学校に籍を置き、引き続き学生教育に勤しむ傍らマウスガード製作講習会等、外部での実技指導も行っています。今回、定年を一つの区切りとして、これまでの教員生活で経験したことをお話しし、引き続きMG製作について皆さんに解説させていただこうと思います。

